

## 200日間自転車無事故無違反ラリー

**蟹北中、参加決定!**

**期間：5月25日～12月10日**

**達成基準：200日間**

**・人身事故を起こしていない**

**・交通違反がない**



蟹江北中学校で自転車通学が始まってから5年目となりました。多くの生徒は毎日マナーや交通安全に努めながら、通うことができます。しかし、「マナーが悪い。」「ルールを守っていない。」という声も聞こえてきます。とても残念なことです。そこで、**更に交通安全意識を高揚させる**とともに、**学校一丸となって連帯感をもち目的を達成する**ことを目的とし、蟹江警察が主催する「200日間自転車無事故無違反ラリー」に参加することにしました!

**今こそ、蟹北生みんなの「心を一つ」にする時!**  
**全員で、事故・違反に気をつけ、**  
**是非とも200日間の目標を達成しよう!!**

↓ちなみに、自転車事故による損害賠償の例… 恐ろしい～!!

### 事例7 歩道走行中の交通事故

男子高校生(17歳)の乗った自転車が、地下鉄駅付近の通行者が多い歩道を走行中、反対側から歩いてくる女性とすれ違った際、自転車のハンドルが女性のショルダーバックの肩ひもに引っかかり、女性が転倒して負傷した。



損害賠償額  
1743万5000円

### 事例8 スピードのだしすぎによる交通事故

男子高校生(17歳)が、登校時猛スピードで下り坂を走行中に高齢者と接触し、高齢者は転倒して亡くなった。



損害賠償額  
1054万円

# 朝礼講話

5月1日 井東先生【でけへんねん】

今日から5月が始まりました。さわやかなお天気で清々しい朝になりましたね。新しい学年になって1ヶ月がたちました。新しく立てた目標を達成するために頑張っていますか？早くもあきらめてしまっていないですか？

今日は関西弁の詩を紹介したいと思います。

運が悪いから でけへんねん

頭が悪いから でけへんねん

あの人がおるから でけへんねん

環境が悪いから でけへんねん

すぐいじけてしまうから でけへんねん

考え込んでしまうから でけへんねん

意志が弱いから でけへんねん

こんな性格にした親の育て方が悪かったから でけへんねん

そやなあ でけへんと思てる間は でけへんな

ほんまやなあ

人間は、「簡単にできないとき、したくないとき、自分のせいにならないで“できない理由”を探す」そうです。その理由をいくら並べても、できるようにはならないことは、自分自身が一番知っているくせに。本当に実現したかったら、「できない理由」を探すより、「どうしたらできるようになるか」を真剣に考える方が得策です。

「できない」「いやだ」「無理」とマイナスの言葉を口癖にしていると、本当にできなくなります。逆に、「できる」「やってみよう」「がんばろう」と前向きの言葉を発していると、自然と笑顔が多くなって、できるようになります。

目標をあきらめてしまった人がいたら・・・まだ1ヶ月です。

前向きに笑顔で頑張る姿がたくさん見られる、5月にしてほしいなと願っています。

5月8日 世古口先生【当たり前を大切に】

みんなにとって「当たり前」はどんなことがあるでしょうか。学校にいけば友達がいって毎日「当たり前」のように喋ること、部活の仲間と「当たり前」のように練習をする…いろいろな場面で「当たり前」があるかと思えます。その当たり前を大切にしていますか。今日はそんな「当たり前」のことについて話をしたいと思います。

先生が大学生になったばかりのことです。先生の出身は三重県ですが、大学が愛知県だったので、一人暮らしをすることになりました。好きなときにごはんを食べて、好きなようにテレビを見たり、ゲームをしたりと好きなようにできると、とてもわくわくしていました。最初のころはとても楽しかったですが、改めて感じたことがあります。ごはんを用意するのも自分、お風呂を準備するのも自分、アルバイトをしてお金をかせぐのも自分...何かも自分でしないとイケないということです。今まで「当たり前」のようにご飯があつて、お風呂が準備してあつて...その「当たり前」の大切さに気づきました。それ以来、三重県にある実家に帰ったときには両親に「ありがとう」と言うことが増えてきました。また、たくさん親孝行をしたいと思う気持ちが強くなりました。

さて、みんなはどうでしょうか。自分たちのまわりにある「当たり前」を大切にできていますか。今一度振り返ってみてください。思うことで何か行動が変わってくるかと思えます。ぜひ、これからの生活「当たり前」を大切にしてくださいね。

## 【6月の蟹北生】

6月は、3年生では修学旅行があり、2年生では野外活動があり、後半には前期テスト②がありと行事が多く、慌ただしい月だったのではないかと思います。

そんな中でふと気がなつたことがあります。朝礼時にも何度か話をしましたが、「身だしなみ」についてです。夏服に移行してからというもの、カッターシャツがだらしなく出ている男子、リボンをつけ忘れていた女子、名札をつけ忘れていた生徒をよく見かけます。

「服装は心の表れ」という言葉があります。もう一度自分自身を見つめ直し、整った身だしなみで落ち着いた生活を送れるようにしましょう。

